

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業 「就活にも強い！～これだけは知っておきたいマナー講座～」

平成30年11月11日・18日・25日

各日共13時30分～15時

立冬を過ぎ、季節は冬本番へと向かい始めた11月中旬の日曜日、3週連続でマナー講座を開催しました。就活中の若年層をターゲットに募集を開始しましたが、受講者は40代から60代の働く主婦層で、改めて社会でのスムーズなコミュニケーション術を学び毎日を少しでも有意義に過ごしたいとの要望が感じ取れました。



講師の村尾 美江氏は、民俗作法研究会会長および弓馬術礼法小笠原流 門人で成城大学兼任講師も務めており、幅広い分野でのマナーをはじめ日常生活での細やかな心遣いを学びました。

第1回目は、電話のマナー（言葉遣い）と題して基本的な敬語と謙譲語の使い方をロールプレイ方式で行いました。第2回目は、食事のマナー（立食パーティー）について、箸使いや食器の持ち方等古来からの作法について、貴重な写真と共に知ることができました。日本においては「食事作法の起源と変遷」、「箸の使用起源」などについて、古くは『魏志倭人伝』（3世紀）、『古事記』（712年）に記載があるとの説明がありました。

その後、立食パーティー時のバイキング方式での服装・持ち物、主催者側招待者側それぞれの場合において気を付けることなどを学びました。



第3回目は、贈答のマナー（熨斗袋）について学びました。社会において人との交際に贈り物は欠かせません。現代社会では、お中元、お歳暮など簡素化したり廃止の傾向にありますが、日本の贈答には熨斗鮑や水引の結び方など、日本独自の決まりごとがあることを改めて学びました。

質疑応答では、職場での歓送迎会時の花束の贈り方について質問があり、花束の向きなどに注意して相手方に手渡すことの説明があり、実際に向かい合って手の動きを確認しました。

今回、少人数だったためほぼマンツーマン形式で受講でき、中でも講師の実体験は特に好評で、参加者全員が「楽しかった。」「非常に満足した。」「わかりやすくて良かった。楽しかった。」との意見が聞かれました。